

受講しました。

講習会では基本のロープワークから懸垂下降の方法、負傷者をシステムを用いておろす方法と引き上げる方法を学びました。ロープワークは今まで使っていたエイトノットやムンターヒッチとは別にインラインエイトノットなどの新しい結び方を学びました。ロープワークは結びを一度見ればすぐにできるような簡単なものではなく、熟練を要する技術だと感じましたが、実戦でできれば役立つと思われる技術ばかりでした。

懸垂下降ではバックアップを下降器よりも自分の体側につけるなど、今まで会の中で主流だったやり方とは違う方法を指導員の方が推奨しています、これは会の仲間にも伝えていく必要があると感じました。

負傷者の救助に関して実際に岩場で引き上げと降ろす方法をやりましたが、負傷者を降ろすのは何とかがターンをいできて、引き上げるのは容易でないと感じました。事故が起こったときには現場でこのシステムを実践できるのかは、十分な訓練を行っても、条件により大きく変わると感じ、勉強になりました。

ですが、起こってしまった場合にあわてず対処できるようなしておくのは重要なことだと思われました。

講習会で習ったものはどれも十分な練習の上にやらなければ、起こってしまった場合にあわてず対処できるようなしておくのは重要なことだと思われました。

## 夏山を終えて思うこと

中平等 新一

れば、逆に危険になるものも多くあり、これを地元の岩場などで復習をし、事故が起こったときにすばやく対処できるようにしていきたいと思えます。

さらに、遭難救助に向かった防災ヘリが墜落し、5人が死亡するという痛ましい事故もあった。

最近、とみに中高年登山者が人気のある高い山に殺到している傾向がある。これにはツアー会社も一役担っているようだが、個々の体力や登山経験を軽視した山行が組まれていることに問題があると思われる。

8月中旬、剣岳の頂上でツアー登山者(13人)と一緒にあった。中には緊張のあまり顔の強張った人もあり、下山は大丈夫かと危惧していたら、ツアーガイドが全員にハーネスを装着させていた。案の定、カニの横這いで渋滞になった。

他方、登山者の増加に伴いどんな山にもちょっとした難所があると必ず鎖や梯子がつけられている。だからピギナーの人でも少し山登りを経験す

ると、自分の技倆をかえりみず人気の山や高山を目指していく。結局は、リーダー任せの登山になってしまい、リーダーが判断を誤ったらそのまま遭難に繋がるといふ図式になってしまふ。

こうした傾向は、案内書などに誰でも登れそうな記述があったり、難所には必ず鎖や梯子があるから登れるという思い込みがあり、いつまでたっても知識や技術、体力の増進に努めようとしなない。

こういう人たちは、安全登山のために自分の力量にあつた山を選ぶべきだ。それでも高みを目指したいというなら、講習を受けたら、トレーニングを積んで行くことが不可欠であろう。

技術や知識、トレーニングを積まないで登れない山やコースを残しておかないと、日本中の山々の至る所に鎖や梯子が架けられては、登山が持つ困難の克服という醍醐味が損なわれ、また、登山にスポーツ性が加味されないとか若い人は魅力を感じないばかりか、登山をスポーツと考える人の理念も失せてしまふ。ひいては、登山界の発展にも繋がっていないかと思うのは、私だけであろうか。

(やまびこ山想会)

名古屋駅前の山とスキーの専門店

# 駅前アルルス

〒450-0002 名古屋市中村区名駅四丁目11-27  
(第2トヨタビル東館1F)

TEL 052-565-1417

うなぎ錦三丁目 い ば しょう

# いばしょう

〒460-0003 名古屋市中区錦三丁目13番22号

TEL <052> 951-1166 番

営業時間 午前 11:00~午後 2:30

午後 4:00~午後 8:00

定休日 日曜日・第二・第三月曜日

## 中高年安全登山指導者講習会

## 雨の中三ツ峠山へ実技講習

～分科会で中高年の課題を協議～

平成22年度「中高年安全登山指導者講習会・東部地区」が10月8日・10日の3日間、山梨県富士北麓「人材開発センター」富士研修所」及び三ツ峠山に於て行われ、北海道など18県から72人が参加した。

第一日目は、12時から受付られ13時に開講する。主催者を代表して国立登山研修所・所長渡邊雄二氏が「中高年登山者の遭難事故が増加している。特にビギナーの登山者には知識や技術がありませんので、この三日日間指導者としていろいろ学んでいただき、指導に当たってほしい」と挨拶。つづいて講義が始まった。

最初に山協遭難対策委員長・西内博氏が「ツアー登山の問題点」をテーマに、トムラウシ登山事故の概要、事故原因の特定などについて解説し、ツアー登山事故防止のための登山計画とリスク対策について講義した。

次に甲府地方気象台気象予報官・河野元治氏は「気象遭難をなくすには」と題して、天気図の見方、季節毎の天気

図から見る天気の特徴、山の天気の特徴、特に河野氏は富士山測候所に勤務していた体験から、富士山頂の気象とエピソードについて語った。

また国際山岳ガイド・八ヶ岳青年小屋経営者・竹内敬一氏が「山小屋から見たツアー登山」で、ガイドは山に対するあらゆる能力が優れていること。県警ヘリと防災ヘリの相違点、携帯電話の通報は結構だが安易な考えでしてほしくない。単独行はなるべく避けた方がよい。雨でも歩く経験をしてよくと良い。など数々の事例をもとに語った。

最後は山協医科学委員長・堀井昌子氏は「低体温症について」講義。低体温症には特效薬がない厄介な病気である。正しい知識を持ち治療より予防こそ大切であると述べ、低体温症の症状について講義があった。

一日目の四氏による講義が終わって、19時から夕食となり、明日の实地登山に備える。二日目は朝から生憎の雨になり、实地登山の可否につい

て協議されたが、小雨程度なので決行と決められた。

8時30分、宿舎から2台のバスに分乗し三ツ峠山へと向かう。登山口に着くと6班に分かれて頂上を目指して歩く。

10時登頂を終えると山小屋で実技講習が行われ、昼食を摂って14時に下山する。山小屋ではロープワーク、登山口ではツエルトの張り方、背負い搬送などが主に実施された。宿舎に戻ると班別にミーティングが行われ、18時夕食の情報交換会が和やかに催され、参加者は楽しく語り合った。

三日目8時30分、山協副会長・内藤順造氏が「中高年登山の現状と課題」を講義。その後分科会が行われた。

第一分科会「リーダーの役割と心構え」について、リーダーの役割として、まず無事に山行を終えること。見えるリスク（講習）見えないリス

ク（現場の経験）、人間関係の問題など話し合う。

第二分科会「危急時の対策」では、ブルーシート、ツエルト、細引きの持参、ロープワークを学んでおく。ロープを出す場所・ビバークの判断など討議。

第三分科会「中高年登山のかえる諸問題」には、組織に加入する必要性、会（クラブ）の運営の在り方、中高年者の運動能力、体力、トレーニングの方法などについて語り合った。

11時、分科会が終了し全体会が開かれ、それぞれの分科会から協議の内容が報告された。

最後に閉講式が行われ、受講者全員に修了証が授与され、23年度は秋田県で開催される旨報告があつて、講習会は終了した。

(中平等新二)

## 講習会に参加して

得るものが多い講義

岡崎山岳会

相山 みどり

今年山梨県山岳連盟の担当で「富士山を正面に見据える」研修所で行われる筈であったが天候に見放され、遠く北



名古屋・伏見長者町の山用品専門店

MOUNT &amp; OUTDOOR GOODS PRO SHOP

ステラルピーナ

(旧シャツバーム)

名古屋市中区錦二丁目5-31 長者町相互ビル2F ☎052-231-0739

営業時間/11:00~8:30pm(日曜日は7:00pm迄)

CLIMBING PARK 東三河初のクライミング施設



http://climbing-park.com

☎0532-26-3737

住所:愛知県豊橋市岡原町138番地



モンタニア

住所:愛知県豊橋市豊町5番地 ☎0532-55-0125 http://www.montania.jp

海道や沖繩からの参加者には残念なことでした。しかし得るものが多く、特に「低体温症」の講義は初めて聞く内容も多くあり、初日の四時間目というのに眼はパッチリと冴えていた。

翌日は雨の中「三ツ峠山・開運山」登山の後「富士見山荘」をお借りして班ごとにロープワークや悪場の通過などの実技研修を行い、終わって宿舎に帰りお決まりの大宴会となり、他岳連との楽しい交流会の夜は更けてゆきました。

最終日やっと「富士山」が顔を覗かせてくれたのには、まるで主催者でもあるかのようになりに安堵の気持ちで一杯になりました。

例年開催県の御苦労は並々ならぬものがありますが、その御苦労に報いるためにも今後とも研さんに励み、安全登山の啓蒙に努めたいと思います。

**体験談を語り合う**

やまびこ山懇会  
**加藤 琢己**

去年までは三地区に分けて行っていたが、今年からは東部・西部の二地区に分けて開催となった。

初日は座学で①ツアー登山の問題点。②山小屋から見た

ツアー登山。③気象遭難をなくすには。④低体温症について。を聞いた。①と④は昨年トムラウシであったような惨事の起きた後でもあり興味深かった。②は我々登山者と日頃から接している山小屋経営者の生の話であり、楽しく拝聴した。

二日目はあいにくと朝から雨であったが、全員が三ツ峠山を目ざした。山頂では山小屋を借りて①ロープの結び方。②ピバーク時のツェルトの使用方法を実習した。夕食時には懇親会がもたれた。今回初めて会う人ばかりなのに話はずんで楽しい。山好き同士

のいいところだ。自分が今までに行った山の話、相手の人の体験談と話は盛り上がった。

三日目には座学⑤中高年登山の現状と課題を聞きその後三つの分科会に分かれる。自分「リーダーの役割と心構え」に加わる。各参加者が発言し、それに対し助言をいただいた。

リーダーをやるようになって二年目であるが、色々な山行に参加し、リーダーの力量を高めていきたい。

◎次回理事会は  
1月25日(火)です

**大和幹夫氏死去**

当連盟顧問・大和幹夫氏(前アルプス社長)は、かねて病氣療養中のところ八月十日永眠されました。大和氏は、昭和四十八年に議長、五十年副会長、平成七年顧問に就任され、岳連活動に多大なご尽力をされました。茲に謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

**「遭難を考える」講演会**

▽11月26日(金)午後7時～9時  
▽場所 県スポーツ会館  
▽講師 弁護士・広島山岳会 講師 渡手 康史氏  
▽演題「登山における法的責任」  
※午後3時から山の記録映画を上映します。興味ある方はどなたでも聴講できます。

月日	内容
10.31	第10回植生保護活動(鈴北岳)
11. 2	常任理事会(OMCビル)
11. 3	県民登山教室(朝明溪谷周辺)
11. 6~7	高体連・新人大会(釈迦ヶ岳)
11.13	Jrクライミング記録会(カクタス)
11.20	第29回自然観察会(滋賀県)
11.26	「遭難を考える」講演会(県スポーツ会館)
12. 7	常任理事会(OMCビル)
12.21	冬山遭難対策会議(県スポーツ会館)
12.25~26	高校生クライミング選抜全国大会

(株)カジタックス



**KAJITAX**  
雪後・氷壁・銀世界  
自然派のグッドパートナー

〒467-0024  
愛知県春日井市大留町598 ☎0568-51-5110、FAX51-7799

多忙な人のための愛知県旅券センターへの申請代行サービス始めました。

1名様費用：5250円～

丸の内の事務所へ、本人確認の写真、証明書等をお持ちいただくだけです。申請用紙は事務所まで用意します。郵送、出張可。

\*\*\*\*\*

その他相続関連の書類作成と相談、会計記帳代行業務なども扱います。最初の1時間は無料。1時間5250円。電話で予約を。

〒460-0002  
名古屋市中区丸の内3丁目1523番地  
大栄ビル 204号室  
**行政書士 西山秀夫**

TEL:052-961-6506  
FAX:052-961-6507  
メール:daisyo@aichi.email.ne.jp  
ブログ:西山行政書士事務所(代書人@愛知)  
営業時間:平日 11:00~19:00  
土曜 11:00~17:00  
休日:日曜、祝日、臨時休業